

沖公評第 55 号
平成20年 8月 8日

沖縄県知事
仲井眞弘多 殿

沖縄県公共事業
評価監視委員会
委員長 吉永安



平成20年度 第1回 公共事業評価について (答申)

平成20年4月30日付け沖縄県諮問土第2号で諮問のあった4事業について、事業継続は妥当であるとお答えします。

なお、事業の継続に当たっては、下記の意見について十分留意していただくよう要望します。

記

1 審議結果

- 国場川基幹河川改修事業 (2回目再々評価) : 事業継続は妥当である。
- 饒波川基幹河川改修事業 (2回目再々評価) : 事業継続は妥当である。
- 安謝川基幹河川改修事業 (2回目再々評価) : 事業継続は妥当である。
- 比謝川基幹河川改修事業 (2回目再々評価) : 事業継続は妥当である。

2 意見

(1) 国場川基幹河川改修事業

- ・河川整備の性質上、工期が長くなることは理解できるが、もっと早く上流まで整備できる方法を検討して欲しい。
- ・国場川の水質向上のためにも那覇市の最終処分場の処理水について、市と協議し対策を講じて欲しい。

(2) 饒波川基幹河川改修事業

- ・ 下流部のマングローブの陸地化の原因となっている上流部の土砂流出の対策を考えて頂きたい。
- ・ 河川整備はまず始めに治水、次に多自然、その次に親水性の優先順位を念頭に整備を進めて頂きたい。
- ・ 溝原橋は老朽化が進んでいるため、事故などが発生しないように早めの対策をお願いしたい。

(3) 比謝川基幹河川改修事業

- ・ 河川は幾つもの市町村を通るため、各々の行政単位に整備のバラツキがあると総体的に綺麗になりにくいいため、統一した考えの基に整備を進めて欲しい。



沖公評第 58 号
平成20年10月10日

沖縄県知事 殿

沖縄県公共事業
評価監視委員会
委員長 吉永安



平成20年度 第2回 公共事業評価について (答申)

平成20年7月3日付け沖縄県諮問土第9号で諮問のあった5事業について、事業継続は妥当であるとお答えします。

ただし、満名川河川改修事業については、満名川水系河川整備計画策定後に再審議を行うこととします。

なお、事業の継続に当たっては、下記の意見について十分留意していただくよう要望します。

記

1 審議結果

- | | |
|---------------------------|---------------|
| 中部流域下水道事業 (那覇処理区) (再々評価) | : 事業継続は妥当である。 |
| 中部流域下水道事業 (伊佐浜処理区) (再々評価) | : 事業継続は妥当である。 |
| 中城湾流域下水道事業 (再々評価) | : 事業継続は妥当である。 |
| 我部祖河川河川改修事業 (3回目再評価) | : 事業継続は妥当である。 |
| 満名川河川改修事業 (3回目再評価) | : 事業継続は妥当である。 |

2 意見

- (1) 中部流域下水道事業 (那覇処理区)

- ・河川の維持水量の確保の観点から、都市河川（久茂地川、安里川）の上流域は下水法の規制を外し合併処理浄化槽等によって処理をした水を川に放流してもらう方がよい。

(2) 中部流域下水道事業（伊佐浜処理区）

- ・中部流域の場合は、密集部が点在していることから、読谷村の楚辺地区のように土壌被覆型の下水処理場を整備し、上は公園として利用した方がよい。
- ・今後、伊佐浜処理場に整備されるグリーンベルトについては、二酸化炭素をより吸収する種類や花が咲く種類を専門家と相談し植栽して欲しい。
- ・施設内の電力については、自然の風力やメタンガスを有効利用し電力に変えるなどの技術も考え、学習の場ともなるような施設にして欲しい。
- ・今までのように、全部沖縄県がカバーするような良心的な行政は破綻すると思う。今後は基本的なことは県が行うが、末端部分については個人で合併処理浄化槽を整備して貰う時期に来ていると思う。

(3) 中城湾流域下水道事業

- ・1つの浄化センターが何らかの事情により機能がダウンした場合は、他の浄化センターへ回すようなバックアップ体制を確立して欲しい。
- ・幹線が布設されている地域については、接続率の向上に努めて貰うとともに、幹線が布設されていない地域については、自己責任の範囲で流域下水道に接続するのか、合併処理浄化槽で処理していくのか検討してもらいたいと思う。

(4) 我部祖河川河川改修事業

- ・ある一定の流量があれば、瀬・淵は比較的簡単につくれるが我部祖河川の現在の状態で恒常的な瀬・淵をつくることは困難と思われる。
- ・治水と自然環境の保護というのは、場合によっては相反することがあっても仕方ないので、事業を始める段階でどちらを優先するかということをきちんとしておく方がよい。
- ・河川が氾濫するところに宅地を造るのではなく、まだ開発が進んでいないところは、ゾーニングで規制するなりした方が、将来の建設費も低減できると思う。

(5) 満名川河川改修事業

- ・満名川は絶滅危惧種の I A 種が何種類かいるので、瀬切れを起こすことがないように、川幅を広げるのであれば、低水路を上手く造るようお願いしたい。
- ・最近是非常に強い雨がよく降るようになっており、子供達が川に入っているときに、一気に水位が上昇すると危険な状態となるため、警報システムを確立するなど、安全性も十分配慮して頂きたい。

沖公評第 61 号
平成20年12月19日

沖縄県知事 殿

沖縄県公共事業
評価監視委員
委員長 吉永安



平成20年度 第3回 公共事業評価について (答申)

平成20年9月4日付け沖縄県諮問土第20号で諮問のあったみだしのことについては、下記のとおりお答えします。

なお、事業の継続に当たっては、意見について十分留意していただくよう要望します。

記

1 審議結果

- | | |
|--------------------------------|---------------|
| 安里川基幹河川改修事業 (3回目再評価) | : 事業継続は妥当である。 |
| 小湾川河川改修事業 (再々評価) | : 事業継続は妥当である。 |
| 高野西里線道路改築事業 (再々評価) | : 事業継続は妥当である。 |
| 宜野湾北中城線道路改築事業 (再評価) | : 事業継続は妥当である。 |
| 糸満与那原線 (与那原工区)
道路改築事業 (再評価) | : 事業継続は妥当である。 |
| 都市計画道路3・4・85号龍潭線 (再評価) | : 事業継続は妥当である。 |

2 意見

(1) 安里川基幹河川改修事業

- ・最近は突発的な雨が多く、鉄砲水になる可能性が高いので、河川の安全性の確保をお願いしたい。

- ・支川の久茂地川の河口付近において、観光客が散策して楽しめる場所となるように、南国沖縄らしい風景の創出や多自然川づくりに取り組んで頂きたい。

(2) 高野西里線道路改築事業

- ・交通の流れが悪くなる未改良区間については、間接的に観光客の満足度の低下に繋がるので、出来るだけ早く改善して頂きたい。

(3) 宜野湾北中城線道路改築事業

- ・宜野湾北中城トンネルについては、地滑が発生しやすい地形であるとともに、直上は住宅地もあることから、地形変形を起こさないように十分に注意し計画してほしい。
- ・泡瀬地区では、今後ビーチの完成やインターハイ等が予定されていることから、観光面からも当該道路は泡瀬地区へ繋がる重要な道路となるため、早期の整備をお願いしたい。

(4) 糸満与那原線（与那原工区）道路改築事業

- ・当該道路と連結する国直轄の与那原バイパスについても、早めに完成しないと全体としてのメリットが発生しないため、国に対して早期整備に向けて取り組む様に意見を述べていく必要がある。

(5) 都市計画道路3・4・85号龍潭線

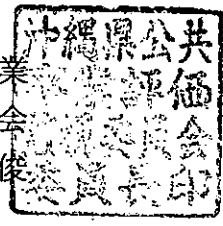
- ・歩道のリサイクルストーンを利用した石畳は、歩きづらくなることなく無いように、またコケ等が生えて、滑ることがないように、維持管理を行って頂きたい。
- ・道路の琉球石灰岩風塗装については、時間が経つとタイヤのゴムの汚れが目立つので、施工当時の状態を維持するように管理して頂きたい。
- ・道路植樹については、候補に挙がっている樹木を試験的に植えて、通り会の方々に見てもらい選定して頂くのも1つの方法である。
- ・当該道路は、沖縄のシンボルである首里城へ誘導する道路として、観光産業の発展にも繋がることから早めに整備して頂きたい。



沖公評第 64 号
平成21年 3月13日

沖縄県知事 殿

沖縄県公共事業
評価監視委員会
委員長 吉永安 様



平成20年度 第4回 公共事業評価について (答申)

平成20年11月26日付け沖縄県諮問土第23号で諮問のあったみだしの
ことについては、下記のとおりお答えします。

なお、事業の継続に当たっては、意見について十分留意していただくよう
要望します。

記

1 審議結果

- 屋部川河川改修事業 (3回目再評価) : 事業継続は妥当である。
- 天願川河川改修事業 (3回目再評価) : 事業継続は妥当である。
- 中城湾港海岸高潮対策事業 (再評価) : 事業継続は妥当である。
- 前泊港 (伊平屋) 港湾改修事業 (再々評価) : 事業継続は妥当である。

2 意見

(1) 屋部川河川改修事業

- ・支川の西屋部川には、貴重種が多く生息しているが、導流堤をさらに長くすると、沖合から稚魚が入れなくなり、西屋部川への影響が懸念されるので、できれば止めて頂きたい。
- ・河口閉塞があると洪水が起きやすいので、その都度、堆積した土砂を浚渫することも検討した方がよい。



- ・緑のネットワーク構想については、沿川住民の意見も聞き、使う人の身になって検討すべきと思う。

(2) 天願川河川改修事業

- ・今後の整備についても、「うるま市水と緑を考える会」と調整し、住民意見を反映して頂きたい。
- ・公共事業費が半減する現状において、現在取りかかっているところでお金を使って、本当に必要とされる治水対策に手がつけられなくなってしまふことが懸念されるので、効果的なお金の使い方を考える必要があると思う。
- ・都市部の河川は地方の河川と比較して沿川住民の人口も多いため、社会全体からみた費用対効果についても視野に入れ整備を図って頂きたい。
- ・河川改修した場合と浸水箇所の住民を移転させ、沿川から数mは、構造物を造らせないで規制することとした場合とでコスト比較してみないことには、河川整備の必要性の判断がしづらいと思う。

(3) 中城湾港海岸高潮対策事業

- ・シミュレーションによる被害額の算定において、台風発生時の確率年から、算出される想定被害額と実際の被害額の検証を行い、妥当性を確かめて欲しい。
- ・通常の大潮の最も潮位が高い時に、波打ち際が養浜護岸に達してしまうと、生物のための砂浜には適さない環境になってしまうので注意して欲しい。
- ・チービシから砂を持ってくる人工養浜については、深海に棲息する生物が砂に混入されているため生態系の攪乱に繋がるとともに、設備としても過剰であり、必要ないと思う。
- ・海岸を整備したことにより、潮流が変わり、以前のような利用が出来なくなるとともに、養浜についても、それ以外の場所で、潮流の変化を生じさせ、他の海岸線を削ることが懸念される。自然界に手を入れてしまうと、復元は不可能になってしまうので、沖縄の財産である海を守って頂きたい。
- ・沖縄観光の魅力は海であり、そこで人工のものを造ると、世界の趨勢は自然のビーチを生かす方向に移っているので、観光の面からの競争力は将来確実に落ちていくことが予想されるため、海岸はできるだけ手をつけずに残して頂きたい。

- ・防風・防潮林をしっかり海岸線全体に植えた方が今後の防災のあり方として良いのではないかと思う。
- ・人工ビーチのように安全に海水浴ができる場所も必要かもしれないが、近くに海水浴ができる場所がいくつかあるので、同じような場所を造るよりは、公園と一体化した個性のあるレクリエーションサイトを造る発想をして頂きたい。
- ・中城湾は海岸線をどんどん整備してしまい、一つ一つのアセスでは大丈夫と言っているが、積み木崩しのようにどこかで崩れることは間違いないので、最後のコマを引かないように、海岸線を整備する際は気をつけて頂きたい。

(4) 前泊港（伊平屋）港湾改修事業

- ・費用対効果については、損失分の効果を計上せずに、便益の拡大を追求するような計算方法だと信頼性が損なわれてしまうと思う。
- ・離島に住む方々は本島へ行く場合も多いし、本島から離島へいく場合もあるので、船の安全性の確保を優先して考えて頂きたい。
- ・伊平屋村における交通手段は船だけなので、費用対効果については、1を超えることにとらわれず、マニュアルに即した算出と県独自の地元の実情に応じた算出の両方を示して頂いた方が、より現実に即した評価が出来るものと思う。



沖公評第 65 号
平成21年 4月 8日

沖縄県知事 殿

沖縄県公共事業
評価監視委員
委員長 吉永安



平成20年度 第5回 公共事業評価について (答申)

平成21年1月27日付け沖縄県諮問士第24号で諮問のあったみだしのこ
とについては、下記のとおりお答えします。

なお、事業の継続に当たっては、意見について十分留意していただくよう要
望します。

記

1 審議結果

石垣新川河川改修事業 (3回目再評価)	: 事業継続は妥当である。
名蔵川河川改修事業 (3回目再評価)	: 事業継続は妥当である。
奥武山公園整備事業 (3回目再評価)	: 事業継続は妥当である。
バナナ公園整備事業 (3回目再評価)	: 事業継続は妥当である。

2 意見

(1) 石垣新川河川改修事業

・特に意見なし

(2) 名蔵川河川改修事業

・下流部の名蔵アンパルがラムサール条約に登録されたことから、上
流部の河川改修にあたっては、名蔵アンパルに影響を与えないよう
に整備を進めて頂きたい。

(3) 奥武山公園整備事業

- ・災害時には那覇市の大半の人が避難してくることが予想されるので、水の確保と排泄面で支障が出ない施設にして欲しい。
- ・全ての人に公園を利用してもらうために、実際に高齢者や車椅子の方に歩いてもらい、どういった物が必要なのか検討して頂きたい。
- ・費用対効果については、那覇祭りの実施や巨人軍のキャンプの予定など、数値以上に潜在的な効果は大きいと思われるので、マニュアルで計上できない効果についても、独自の手法で算出して頂きたい。
- ・奥武山公園は利用者が多い割には、駐車場が少ないので、駐車場の増設を進めて頂きたい。
- ・2010年に高校総体があるので、奥武山公園で開催を予定している競技については、施設の点検を行って頂きたい。
- ・野外ステージとともに、大型スクリーン等を設置して頂いて、外国のように野外で映画鑑賞が出来るような施設にして欲しい。

(4) バンナ公園整備事業

- ・多くの観光客がバンナ公園の展望台を利用しており、実質は費用対効果の数値以上の効果があると思われるので、マニュアルで計上できない効果についても、ケースバイケースで示して頂きたい。
- ・星などを観測する場合もあるので、夜間移動の安全性についても、十分に配慮して欲しい。